

# 日中友好新聞

## 府連通信

2009年11月号  
 日本中国友好協会大阪府連合会  
 〒530-0013  
 大阪市北区  
 茶屋町10-6  
 阪急北ビル4階  
 TEL06-6372-8131  
 050-3413-6491  
 FAX06-6372-8132  
 郵便振替口座  
 00970-5-8978  
 E-mail:jcfa@jst8.so-net.ne.jp  
 ホームページ  
<http://www005.jp/pp.so-net.ne.jp/jcfaosaka/>

### 滋賀県支部、奈良県に続いて発足 歴史認識を持って文化活動を旺盛に

滋賀県支部の結成総会が十一月七日大津市で開催されました。建国六十周年の記念すべき年に、今春に再建された奈良県支部に引き続き、滋賀県支部が結成され、これで四七都道府県全てに日中友好協会の組織ができました。

渡辺武本副会長などの来賓あいさつ、支部結成までの経過報告や活動方針が提案され、金城明支部長、市村祥三事務局長など新役員を選出し、三〇数名で新支部が結成されました。

金城明支部長は新役員を代表して、「新支部はアジア諸国への侵略戦争の歴史を正しく伝える歴史認識をしっかりと持つて、文化を中心にした活動を展開したい」と、



大阪西支部から滋賀県支部旗を贈呈

### 文化のつどい開く 撫順での五年を映像で

十一月八日新中国建国六十周年を記念して大阪府連主催「文化の集い」が開かれました。

日中十五年戦争を映像資料で学びました。撫順戦犯管理所で九百八十二人が戦争犯罪を認めるまでの五年間を記録したビデオを観賞しました。

### 新中国建国六〇周年に思う③

片山英徳(日中友好協会大阪府連合会理事長)

大阪は新中国との関係がとての模擬店で中国の商品・景德鎮も深く、1955年十二月にはの茶器・筆・掛け軸など販売し第一回中国見本市が開催され、ました。

交流の第一歩が始まり民間貿易も動き出しました。

しかし1958年に日本の右翼が新中国の国旗をひきずり降ろす暴挙『長崎国旗事件』で日中貿易も文化交流も全面中断し年々困難な状況でしたが、日中交流の第一歩が再び再開されました。

1966年から68年には中国の文化大革命の影響が文庫に始まり、瀋陽市の柳条湖・平頂山・盧溝橋事件などが起った現地に行き、次の旅で上海の戦争記念博物館・南京・ハルピンの731部隊遺跡を実際に見て、また当時の生存者の話を聞くことにより平和の大切さと日中不再戦の思いを新たに、日中両国民の連帯を

私は1964年六月、大阪の港区で開催された中国経済貿易展に参加し貿易展のポスター貼りました。

1972年国交回復・78年一層強化したいと思っています。

### きりえで創る

#### 干支色紙講習会開く

西支部主催の干支色紙を創るきりえ教室が十一月二十日稲田雪男講師の指導で開かれました。

来年の干支「寅」をテーマに参加者一同熱心に干支色紙を完成させました。府連主催で十一月二四日に「年賀状」を、十二月一日に「干支色紙」の講習会を開催します。



「年賀状」を、十二月一日に「干支色紙」の講習会を開催します。

### 好評発売中

## 「中国悠久の旅」カレンダー 四川大地震の災害支援に充てられます

大きさ：B3判 515×364mm  
 様式：カラー13枚綴り  
 定価：1200円(税込)



### なにわの賑わい・暮らしを描く

## 加藤義明きり絵の世界展

12月8日(火)～13日(日) **入場無料**  
 9時～18時(8日は13時から、13日は17時まで)  
 会場：堺市立文化館ギャラリー(JR堺駅すぐ)  
 記念講演：木津川計さん 13日(日)13時から  
 「加藤義明の人と作品」会場：サンスクエア堺

# 本部理事会開催される

## 創立六十年にむけての組織強化を!

第一回本部理事会が十一月十日(十五日、東京にて開催)されました。全国から六十七名が参加し熱心な討議をおこないました。

一日目は情勢問題と組織強化について討議されました。

まず情勢討議では、高まる核廃絶に向けての動きや、平和憲法を守る運動などが報告されました。また世界情勢と中国事情および、先の総選挙での自公政権から民主党政権への歴史的な変化に対する発言が多くありました。

組織強化では本部からの「来年の全国大会までに会員を千人拡大し、五年後には二万人の強い協会組織にしましょう」という提案に答えて、福岡、東京の代議員から大幅な会員拡大をめざしていく決意が報告されました。

夜には「中国人研修生・実習生問題」の学習会を行いました。

二日目は各地での「不再戦平和活動」や「文化活動」、「創立六十周年行事」などが討議されました。来年の創立六十周年全国大会は東京で開催されます。

# 太極拳新春初けいこ

## 守口東部サークル二〇周年記念表演

「2010新春初けいこ」は、新年一月十一日に守口市民体育館で開かれます。

2010年は守口東部太極拳サークルの創立二十周年にあたり、これを記念して表演会(成果発表会)を行います。

それぞれ各地の太極拳教室やサークルからは是非参加していただきたいと思えます。

個人参加も大歓迎です。

参加申し込み受付中です。

日頃一緒に練習する機会の少ない各地の教室の皆さんとも交流し、お互いに太極拳の楽しさを広めましょう。

### 新春初けいこ

守口東部太極拳サークル  
創立二十周年記念表演会  
一月十一日(祝)  
九時三〇分受付開始  
守口市民体育館  
(京阪電車・守口市駅前)  
一階小体育館

午前中は各チームの練習  
午後一時から表演会  
参加費は五〇〇円  
(見学だけの方は無料)

主催日中友好協会守口支部

# 中国の環境対策と日本の技術援助

## 排出削減へ日中共同技術の拡大へ

先日、日本が国連で地球温暖化防止の環境に対するCO2削減幅を1990年比25%削減すると発表しました。国内の大手企業から反発が出ていますが、これは今の地球規模の温暖化を防止するにはどうしても必要・最小限の数字です。

ヨロロッパでは世界での排出削減の合意以前から、途上国や地域の状況に応じて、排出削減

取引なども積極的に活用していきま

日本は環境対策では、京都議定書の枠組みの発祥の地でありながら、積極性に欠けていたにもかかわらず、今まで努力して削減してきたのにその上に25%削減はキツイと嘆いています。

先見性を持って当初からものと積極的であれば、国際的に非難を浴びることなく、削減取引

や技術革新などで実現可能なのです。

日本企業は世界をリードするほど、CO2削減の最先端技術と近代化で削減に努力してきたといいますが、それは公害を垂れ流し市民を犠牲にして追い詰

められ、結果として技術開発を進めたにすぎません。

いま削減枠にクレームを付ける身勝手さが許される時代ではありません。もっと知恵を出し世界をリードするぐらいの努力をすべきです。排出量の多い電力や鉄鋼関係の近代化を通じて

排出枠取得等前向きに活動しなければなりません。

世界最大の排出国(60億トンの中国鉄鋼業界の排出枠を新日本製鉄が馬鞍山鋼鉄に最先端の技術を供与し、排出量取引を目指しています。世界全体からすれば削減に貢献できても前提になるのは自国の排出削減努力が何より大事です。発想を変えて(石炭に頼らず水素を利用するなどの技術開発)CO2の利用技術や先端技術への発展に繋がる研究が急がれます。

(大阪府連常任理事 松原弥寿夫)

# 太極拳大阪府連・なんば教室

1月18日(月)開講(10回・毎週月曜日)

練習時間: 18:30~20:30

会場: なんば府立体育館

入会金: 3000円、受講料: 12000円

連絡先: 大阪府連06-6372-8131

# 第91期中国語講座受付中

中国人との日常会話ができることをめざしています。

会員・学生割引あり、紹介キャンペーン図書券を贈呈(10/5から週一回・二時間・6ヶ月20回受講)

受講料・44,000円 入学金・18,000円

二科目受講は88,000円を66,000円に割引

\*授業の見学は無料で二科目までならOKです。

\*プライベートレッスンも随時受付中です。